



カリフォルニア大学デービス校 英語サイエンスコース



グローバル人材育成プログラム科目 海外文化・専門集中講座

研修費:2013年度 未定

2012年度概算費用(参考):約¥520,000

研修期間(予定):

2014年2月6日(木)~3月9日(日) 32日間

使用言語: 英語

募集人数: 最大 20名(最少催行人数 10名)

プログラムの特徴

プログラムについて

当研修は、カリフォルニア大学デービス校エクステンションにて実施されている「English for Science and Technology」コースの4週間プログラムです。学生は理工系英語に特化した専門授業を受講するほか、実践的なコミュニケーション能力の向上のためのトレーニングを受けます。

授業について

1クラス12~16名の少人数制クラスです。授業は、話す力、発音やプレゼンテーション力およびリサーチスキルの習得と向上を目的とし、科学技術関連トピックスについてのディスカッションやプレゼンテーションを行います。アメリカ最先端の科学技術分野の現状を学ぶため、実施にカリフォルニア州内にある研究所や会社訪問し、最先端プロジェクトを実地見学します。

当研修期間は、日本の春休み期間のため、多くの日本人学生が参加します。

課外活動 (オプション)

希望者は、別途現地に参加費を払って、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ヨセミテ国立公園等へのフィールドトリップに参加できます。詳細は現地にてオリエンテーションの際に説明があります。

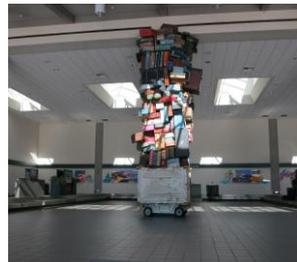
カリフォルニア大学デービス校について

カリフォルニア大学デービス校は、UC Berkeley 等を含むカリフォルニア大学群のひとつ。約32,000名の学生が在籍。

付属の UC Davis Extension は、1960年から留学生向け英語教育をはじめとする生涯学習を提供しており、50年以上の長い歴史と経験を誇っています。

カリフォルニア州デービス市について

人口6.6万人のデービス市。学生数が人口の約半分のため、市民のほとんどが学生、職員、研究者と大学関係者です。2~3月の平均最高/最低気温は、それぞれ16~19°C/5~7°Cで、冬は温度が高い為、一年を通じて過ごしやすい街です。



プログラム詳細

研修期間(予定): 2014年2月6日(木)~3月9日(日)

募集人数: 約20名(最少催行人数10名)

*** 履修の取扱いについて ***

履修対象: 2013年度以降に入学した学生。ただし、農学部及び国際日本学部では、在学生全員に履修を認めています。経営学部については、一部の在学生(2012年度入学者)の履修を認めています。

履修要件: TOEIC(IP含む)400点 [TOEFL PBT(ITP含む)435点・CBT 123点・iBT41点, IELTS 5.0, 英検準2級、もしくは本学における2012年度(1年生は2013年度前期)英語科目の成績評価係数が所定の計算式で2.3]以上に相当する英語力を有すること。語学能力試験のスコアは2011年10月以降に受験したものが有効です。

取得単位: 2単位(4年生が受講した場合、単位取得は認められません。)

次の学部では、単位が卒業要件として認められます。

法・農・経営・国際日本・総合数理

事前の英語学習について: 本プログラム参加には、TOEICで550点以上程度の英語力を有することが望ましいとされています。TOEIC550点以下の方も履修できますが、担当教員の判断によっては、事前に英語学習を行っていただく場合があります。

※詳細はグローバル人材育成プログラム科目 海外文化・専門集中講座シラバスをご確認ください。

研修費(概算): 2013年度 未定

2012年度費用概算(参考)約¥520,000

※参加者数が20名以下の場合や、為替・燃油特別付加運賃の変動等により研修費用が高くなる可能性があります。

※最少催行人数に満たない場合は、催行を中止するか、研修内容および研修費用を変更して実施を検討いたします。

(A) 上記費用に含まれるもの

- 研修費 ホームステイ滞在費
- 航空運賃
(成田空港使用料, 海外航空税, 燃油加算税を含む)
- ビザ(F-1)代 (\$160 約¥17,600 / 7月時点)
- ビザ申請書類作成代行料
- 成田出発での出発サポート
- 現地空港~大学までの移動費用(往復)

(B) 費用に含まれないもの

- 海外旅行保険 SEVIS Fee \$200
- 自宅⇄成田の交通費
- 現地での交通費, その他の雑費

宿泊先: ホームステイ(1日3食付)

滞在中、食事はホストファミリー宅で提供されます。

※平日の昼食は、サンドイッチなどをホストファミリーが作ってくれるか、材料を提供してもらい自分で作って持参するかです。ホームステイ団体(WISE)がホストファミリーの選定・決定を行う予定です。この研修期間中は、学生数が増加するため、1家庭に複数の日本人または日本人以外の学生が滞在する可能性があります。また、通学に1時間以上かかる不便な場所に滞在する可能性もあります。なお、例年の傾向として滞在先のお知らせが出発直前になることもあり、また決定後急に変更になる可能性もあることをご了承ください。

履修要件・研修申込・履修登録についての重要なお知らせ

履修要件として、TOEIC(IP含む)400点 [TOEFL PBT(ITP含む)435点・CBT 123点・iBT41点、IELTS 5.0、英検準2級、もしくは本学における2012年度(1年生は2013年度前期)英語科目の成績評価係数が所定の計算式で2.3]以上に相当する英語力を有することが必須です。語学能力試験のスコアは2011年10月以降に受験したものが有効です。

海外協定校への短期留学申込手続は10月上旬を、履修登録は10月下旬を予定しています。申込時(10月上旬)に、前述の履修要件を満たしていることを申告していただきますので、有効な英語力の証明がない方は、予めTOEICやTOEFLの公開テストを受験してください。なお、英語能力試験の受験料および会場までの交通費については、自己負担となりますので、あらかじめご了承ください。

* 申込方法、研修費用、プログラム内容等詳細は、9月以降に大学ウェブサイト「国際連携・留学」ページに掲載しますので、必ずご確認ください。

スケジュール例(予定/現地の都合により変更になることもあります)

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9 - 9:50 a.m.	Listening and Pronunciation (daily) ・アクセント、イントネーション、リズム等の練習。 ・理系分野で頻繁に使われる表現方法を勉強する。				
10 - 10:50	Intercultural Research Project (daily) ・最終日のプレゼンテーション発表に向け準備。				
11 - 11:50	Hot Topics in Science and Technology (daily) ・批判的に考える力を養い、データ分析について学ぶ。 ・講義や理系分野の専門家の話を聞き、新しい知識を習得する。				
Lunch Break					
1:10 - 2:00	Introduction to Regional Business and Industry Site visits(現地訪問)に関する事前・事後情報レクチャー		Site visits** (訪問先例)シリコン・ロボティクス、UC Davis内のゲノムセンター等 ※訪問先では、 <u>リサーチに参加しません。見学のみです。</u>	Introduction to Regional Business and Industry Site visits(現地訪問)に関する事前・事後情報レクチャー	
2:10 - 3:00					

参考 URL:

- University of California Davis: <http://www.ucdavis.edu/index.html>
- English for Science and Technology: http://extension.ucdavis.edu/unit/international_english/science.asp

野外プールもある広大なキャンパス



学生たちで運営されているカフェテリア



お問い合わせ: 明治大学 国際教育事務室 短期海外研修担当

TEL: 03-3296-4868

Email: gogaku23@meiji.ac.jp